

# 『看護覚え書』の序章を掲載！

続き7

## 子供の寿命は衛生状態の判断基準

18. 天体の運行の法則について、それらが我々から遙か遠くに離れて存在するにもかかわらず、全くよく理解されているのに対して、奇妙なことに、人間の心に関する法則は、それが毎日また終日我々の観察の下にあるにもかかわらず、二千年前に比べて、少しもよりよく理解されているとは言えない。

19. ところが、最も奇妙なことがある。すなわち、われわれはこれを教育の虚飾とでも呼びたいところであるが、例えば天文学の基本原則などが、今やすべての女生徒に教えられているのに対して、我々の身体と、神がそれを置かれたこの世界との関係について神が定めた法則については、あらゆる階級の家庭の母親たちや女教師たちはおろか、子供の乳母たちにも病院の看護師たちにも、何一つ教えられてはいない。言い換えれば、神が、我々の心の器とされたこの身体を、その心の健康あるいは不健康な器に仕立てる法則についてはほとんど何も学ばれていないのである。私はこれらの法則、すなわち生命の法則が、ある程度は理解されていることを否定はしない。しかし母親たちでさえも、これらの法則を学ぶことすなわち自分の子供たちに健康な生活をもたらす方法を学ぶことが自分たちにとって価値があるとは思っていない。彼女たちは、それを医学あるいは生理学の知識と呼んで、もっぱら医師のものと思っている。

20. もう一つの別の反論がある。こんなことがよく言われる。子供たちの健康を左右する環境に対しては、我々の力も及ばないではないか。風に対して何が出来るであろうか！東風(東風とは健康に害を及ぼすと考えられている風のこと)と言うものがある。大抵の人々は、明日朝起き出す前から、風が東から吹いてくるかどうか言い当てられる。

21. これに対しては、前の反論に対してよりももっと確信を持って答えることができる。いつ風が東から吹くかを気にしているのは、一体誰であろうか。もちろん東風に吹きさらされながら家畜を追っているスコットランドの高地人ではなくて、新鮮な空気や陽光等にさらされる機会が少なくして生命力の衰えた若い女性である事は確かである。後者を前者のような健康的な環境のもとに置いてみるとよい。そうすれば彼女も、いつ風が東から吹くかを気にしたりはしなくなるであろう。



看護覚え書より引用

ナイチンゲール序章の掲載を終わります

4月号から恵寿フィロソフィを掲載いたします

## がん化学療法上位研修修了証 8人目の授与

5病棟3階の佐賀野洋子さんが、がん療法・ケアに関する研修を積み重ね、3月28日、『がん化学療法上位研修修了証』とバッジが、本橋看護部長から手渡されました



がん化学療法上位研修修了者は、今回で8人目となりました。

# なう 看護部Nau

平成29年3月  
第30号発行  
社会医療法人  
財団董仙会  
恵寿総合病院  
看護部管理室

## 2016年3月年度末を迎えて

3月に入り、今年度の評価・課題を明らかにし、来期に向けた活動計画を立てる時期となりました。この一年は、①WLBに取り組み、夜勤制限者の減少、超過勤務時間の削減 ②交代勤務や正循環勤務の導入、③新しい看護方式であるPNSの導入・実践による定時帰宅の実現に近づき、④認知症患者の院内デイケア開設、⑤特定行為研修の履修生5名、⑥血管造影治療介助など特殊業務のスキル習得などの人材育成、⑦看護必要度評価を根拠にした応援体制の構築、⑧認知症ケア加算1の取得など、多くの活動により実績・成果をあげることができました。これらは、看護職の皆様のご活躍の賜物です。ありがとうございました。引き続き、2017年度もチャレンジ精神と高い目標をもって、準備をお願いします。



## 主任さん、部署異動で新風を期待

3月から新部署に異動した8人の主任さんに、意気込みを伺いました。

### 高橋 真寿:本館5階東病棟→本館4階西病棟

今回 本館5東から4西に異動になりました。4西で感じたことは 略語や聞いたこともない言葉がたくさんあり異国の地に行ったような印象を受けました。言葉すらわからない様などで看護ができるのだろうかと不安でしたが、そんな不安を消してくれるかのように、スタッフ全員が接してくれているので 気持ちも新たに進むことができている今日この頃です。

### 菅野 則之:本館4階西病棟→血液浄化センター

血液浄化センターのIT化を進め(透析システム導入)、情報の共有や、スタッフの仕事量軽減を目指します。また、研究や教育にも力を入れていきます。教育では、プライミングや穿刺場面などをiPadで撮影し、「見て学べる環境」も整えていきたいと考えています。

### 寺田 千恵:HCU→本館6階東病棟

3月より6東へ異動しました。早いもので、異動して1か月が経とうとしています。日々、師長さんをはじめスタッフの皆さんに助けられながら、慌ただしく過ごしている状態です。これからも皆さんと協力し一緒に頑張っていきたいと思っております。

### 水口ふじ美:5病棟3階→本館5階西病棟

4年ぶりに整形病棟に戻ってきました。PNSを定着し継続した看護を目指します。また、発言できる、やりがいのある、仕事楽しいと思える病棟を作りたいと思っています。

### 西田 久枝:5病棟4階→5病棟5階

年老いての異動で、とても悪戦苦闘の毎日です。周りのスタッフは皆？若く活発な方たちなのでその若いエキスをもらって頑張っ素晴らしい地域包括ケア病棟にしていきたいと思っております。みなさんよろしくお祈りいたします。

### 大森 圭子:本館6階東病棟→本館6階西病棟

泌尿器科看護についての知識がないのが一番不安な点ですが、新たな事を学べる楽しさもあります分からないことはスタッフに確認しながら一日でも早く病棟の戦力になれるよう貪欲に学んでいきたいと思っております

### 真鍋 繁子:本館6階西病棟→本館5階東病棟

異動し早1ヶ月経ちました。PNS定着、消化器の専門性の向上にむけて活動していきたいと思っております。

### 竹端 義子:本館5階西病棟→5病棟4階

異動後、顔見知りの患者さんに出会い「動けるようになったよ」と笑顔で話してくれた事がとても印象的で、自分のことのように嬉しく思いました。5西に戻っても患者さんの喜びをやりがいに頑張ろうと思っております。竹端主任は、4月1日から本館5階西病棟に異動し、師長代理を務めます。多職種連携が重要な病棟であると、医療チームの一員として、患者、家族が安心して退院できるように退院支援をしていきたいと抱負を語ってくれました。

# 本館 5 階東病棟紹介

消化器外科・乳腺外科術前術後、  
内視鏡的検査・治療、緩和ケアの看護を主体として、  
安全・安楽・安心して入院生活を送れるよう  
病棟スタッフ一同頑張っています。

今年度PNS定着・二交代勤務の導入に向け、さまざまな業務改善を行いながら進め、  
残業時間の短縮に繋がりました。さらに、受け持ち看護師としての自覚も芽生えています。  
患者から受け持ち看護師への感謝の言葉も増え、今まで以上に、患者にとってより良い看護が提供できる体勢になっています。



マニュアルの厳守の為、患者役・看護師役を設定し、『与薬・内服確認、点滴準備から投与まで、麻薬の取り扱い』などのシミュレーションを行いました。  
演技者が間違った手技で行い、参加したスタッフが指摘し合い、正しい手技を確認していく方法にしました。

乳がん術後患者のボディイメージの喪失感に寄り添い、精神的ケアや補正下着、ウィッグの相談に対応しています。



人工肛門に対する皮膚トラブルやパウチの選択などの相談に乗っている看護師がおり、外来患者の対応もしています。

